

2) 利用の承認等

①利用承認

利用に当たっては、北海道立都市公園条例第6条の2に該当する場合を除き利用を承認します。

また、同条例第6条の2に該当する場合は、まずは改善を求め、改善されない場合にのみ利用を承認しない、又は利用を制限若しくは停止することとします。

②平等利用

利用者に対し、正当な理由が無い限り公園施設の利用を拒みません。また、公園施設を利用することについて、不当な差別的取扱いをしません。

利用者については、道民であるかどうかに関わらず、また外国人に対しても区別なく、等しく同じ利用料金、同じ無料及び減免基準を適用します。また、利用料金の還付や減免については、北海道立都市公園条例及び同オホーツク公園管理規則に則り適正に行います。

当公園における施設の予約方法は、窓口での受付をはじめ、電話・FAX・WEBとし、高齢者や障がい児・者、国籍等にかかわらず、利用しやすい環境を整備し公平に受付します。

また、団体利用の申込みがあった場合、特定の団体利用に偏ることの無いよう、また、一般利用者の利用が制限を受けることの無いよう利用調整を行い、利用者理解の徹底を図り、適正な利用許可や調整方法に平等性を確保します。

3) 開設期間の延長

オートキャンプ場については、北海道都立市公園条例において、4月29日から9月30日までと定められていますが、これを延長し、4月29日から10月の第2月曜日（祝日）までとし、利用促進を図ります。なお、各施設における開園時間等は下表のとおりとします。

	施設名	期 間	時 間	担当者
管理施設・遊戯施設	開扉 正門	4月1日～4月30日	8:30～17:30	職員・センターハウス管理人
		5月1日～10月9日	7:00～19:30	警備員
		10月10日～10月31日	8:00～17:30	パークゴルフ場・センターハウス管理人
		11月1日～3月31日	8:45～17:30	職員
	南門	5月1日～10月9日	6:45～19:15	警備員
		10月10日～10月31日	8:45～17:30	職員
管理棟・施設			[解錠・施錠]	
センターハウス	4月1日～3月31日	9:00～17:00	職員・センターハウス管理人	
ころころひろば	4月1日～3月31日	10:00～16:00	職員・センターハウス管理人	
ぼうけんの森	5月1日～8月31日	10:00～19:00	[巡回・確認] 警備員・作業員	

		9月1日~9月30日	10:00~18:00	警備員・作業員
		10月1日~10月31日	10:00~17:00	警備員・作業員
	センターロッジ	4月29日~10月9日	8:00~21:00	職員・警備員
		10月10日~10月10日	8:00~17:30	職員
便益事業	駐車場 中央駐車場	4月1日~4月30日	8:30~17:30	職員・センターハウス管理人
		5月1日~10月9日	7:00~19:30	警備員
		10月10日~10月31日	8:00~17:30	パークゴルフ場・センターハウス管理人
		11月1日~3月31日	8:45~17:30	職員
	南駐車場	5月1日~10月9日	6:45~19:15	警備員
		10月10日~10月31日	8:45~17:30	職員
	トイレ 北駐車場トイレ	4月29日~10月31日	5:30~19:00	北方民族博物館警備員
売店 センターロッジ	4月29日~10月9日	8:00~21:00	職員	
	10月10日~10月10日	8:00~16:00	職員	
センターハウス	4月1日~3月31日	9:00~17:00	職員・センターハウス管理人	
有料施設	オートキャンプ場	4月29日~10月9日	8:00~22:00	警備員
		10月10日~10月10日	8:00~16:00	職員
	パークゴルフ場	5月1日~8月31日	8:00~17:30	パークゴルフ場管理人
9月1日~9月30日		8:00~16:30	パークゴルフ場管理人	
10月1日~10月31日		8:00~16:00	パークゴルフ場管理人	

2. 利用料金の收受等

1) 規定

公園条例第12条の2の規定に基づき、適正に処理します。

2) 利用料金の決定

利用しやすさを考慮し設置条例で定める上限額の範囲内で下表のとおり利用料金を設定します。

①オートキャンプ場に入場する場合

区 分	利用料金
利用料金（デイキャンプ（日帰り）をする場合）	
学齢に達しない者、小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者以外	1日1日につき 500円
利用料金（レイトキャンプ（日帰り）をする場合）※バーベキュー施設の利用に限る	
学齢に達しない者、小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者以外	1日1日につき 800円
利用料金（サイトに宿泊する場合）	
1 小学校の児童	（オンシーズン） 500円
	1人1泊につき（ショルダーシーズン） 400円
	（オフシーズン） 300円
2 1以外の者 （学齢に達しない者を除く）	（オンシーズン） 1,200円
	1人1泊につき（ショルダーシーズン） 800円
	（オフシーズン） 600円
利用料金（ロッジに宿泊する場合）	
1 小学校の児童	（オンシーズン） 700円
	1人1泊につき（ショルダーシーズン） 600円
	（オフシーズン） 500円
2 1以外の者 （学齢に達しない者を除く）	（オンシーズン） 1,600円
	1人1泊につき（ショルダーシーズン） 1,200円
	（オフシーズン） 700円

②オートキャンプ場内の施設又は設備を利用する場合

区 分	利用料金
サイト料金（デイキャンプ（日帰り）をする場合）	
フリーテントサイト料金	（オンシーズン） 500円
	1サイト1日につき（ショルダーシーズン） 400円
	（オフシーズン） 300円

サイト料金		
キャンピングカーサイト料金	(オンシーズン)	3,800 円
	1 サイト 1 泊につき (ショルダーシーズン)	2,900 円
	(オフシーズン)	2,000 円
プライベートサイト料金	(オンシーズン)	2,600 円
	1 サイト 1 泊につき (ショルダーシーズン)	2,000 円
	(オフシーズン)	1,400 円
フリーテントサイト料金	(オンシーズン)	500 円
	1 サイト 1 泊につき (ショルダーシーズン)	400 円
	(オフシーズン)	300 円
ロッジ料金		
バリアフリーロッジ料金	(オンシーズン)	20,200 円
	1 人 1 泊につき (ショルダーシーズン)	17,000 円
	(オフシーズン)	10,500 円
A ロッジ料金	(オンシーズン)	19,500 円
	1 人 1 泊につき (ショルダーシーズン)	15,800 円
	(オフシーズン)	9,700 円
B ロッジ料金	(オンシーズン)	12,800 円
	1 人 1 泊につき (ショルダーシーズン)	10,700 円
	(オフシーズン)	6,400 円

※デイキャンプの利用時間は午前 10 時 00 分から午後 4 時 00 分までとする。

※バーベキュー施設を利用するレイトキャンプの利用時間は午後 4 時 00 分から午後 9 時 00 分までとする。

※アーリーチェックインは、上表のデイキャンプに係る料金にフリーテントサイトの宿泊に係る料金を加えた料金とする。

※自動二輪車、自転車、徒歩による利用の場合、上表の「①オートキャンプ場に入場する場合」の利用料金に 0.5 を乗じて得た料金とする。

※団体利用の場合、上表の「①オートキャンプ場に入場する場合」の利用料金をオフシーズン料金とする。(この場合の団体利用とは小・中・高等学校の学校行事、子ども会・スポーツ少年団等の団体及び、大学の学校教育に寄与すると認められた場合が対象となります。)

※7泊以上連続してロッジを利用する場合、上表の「②オートキャンプ場内の施設又は設備を利用する場合」のロッジ料金に 0.5 を乗じて得た料金とする。

※団体利用の場合、7泊以上連続してロッジを利用する場合、上表の「②オートキャンプ場内の施設又は設備を利用する場合」のロッジ料金に 0.5 を乗じて得た料金とする。

③コインランドリーを利用する場合

区 分	利用料金
洗濯機	1回につき 300円
乾燥機	1回につき 100円

④パークゴルフ場を利用する場合（学齢に達しない者、小学校の児童、中学校の生徒及びこれに準ずる者が利用する場合を除く）

区 分	利用料金
パークゴルフ場（1日券）	1人1日につき 250円
パークゴルフ場（団体利用）※ ¹	1人1日につき 220円
パークゴルフ場（共通回数券）	11枚綴りにつき 2,500円
パークゴルフ場（共通回数券）市内2施設発行券 ※ ²	1枚1日につき 220円
パークゴルフ場（シーズン券）※ ³	1人1シーズンにつき 11,000円
クラブ一式（クラブ・ティー・ボール）	1本1日につき 100円

※¹団体利用とは、利用人数が10名以上の場合とする。

※²共通回数券とは、市内3施設（道立オホーツク公園、レイクサイドパーク・のとり、網走スポーツレーニングフィールド）において利用可能とし、各施設において利用があった場合、1枚につき220円で清算する。

※³シーズン券については、購入年度の10月31日まで有効とする。

※その他、網走市の取り組みであるボランティア応援事業、高齢者生活総合支援事業に協力して、応援券・助成券（1枚100円）の取り扱い事業所として登録し、利用促進を図ります。

3) 利用料金の收受・還付等

北海道と一般財団法人北方文化振興協会とが締結する北海道立オホーツク公園の管理に関する協定書に定める利用料金の収納に関し、必要な事項を定め適正に処理します。

3. 利用促業務

1) 来園者サービスの充実

オートキャンプ場のセンターロッジでは、キャンプ場利用者に自由にビリヤード・卓球を楽しんでいただくほか、サッカー、バスケットボール、バドミントンなどの用具を無料で貸し出し、多様なレクリエーションの場を提供します。

フリーテントサイト限定で10時からチェックインできるアーリーチェックインを設定します。また、バーベキュー施設限定で16時から21時まで利用できるレイトキャンプを設定します。その他、自主企画事業として利用者サービスの充実を図ります。

2) 広報活動

当公園のパンフレット、ポスターを一体管理施設である北方民族博物館をはじめ、網走市内・近郊の観光施設、網走管内の道の駅、アウトドアショップ、各種体験事業所などに配布し、貼付、頒布について協力を依頼します。

イベント開催に係るチラシ・ポスターを作成し、公園内の各施設をはじめ、市内の関連施設へ配布し、貼り付け・頒布について協力を依頼します。

じゃらん等の各種出版社が出版する商業誌の企画へキャンプ場、遊戯施設の情報提供を行い、施設の周知を図ります。

3) 地域と連携した自主企画事業の実施

公園内の豊富な自然環境を活用した巣箱設置による野鳥観察や自然観察会を開催します。さらには、大規模イベント事業のてんとらんど大感謝祭をはじめ、中規模イベント事業、小規模イベント事業の開催など、季節、時期を考慮し事業の充実を図り、利用拡大に努めます。

4) 他の道立公園との連携

他の道立施設と連携し公園同士のPR活動を行います。さらには、相互利用による料金の割引サービスの取り組みについて、他の指定管理者と協議を行い、次期指定管理期間中において導入を目指します。

5) ICTの活用

ホームページで施設の基本情報や開催するイベント詳細情報を提供します。また、スマートフォンやタブレット画面への対応など閲覧者がより利用しやすいホームページとした上で各施設の利用予約を可能とします。

フェイスブックやツイッターを活用し、公園の情報をリアルタイムで発信するほか、YouTubeを活用し開催した事業の様子などの情報を発信して利用促進を図ります。

キャンプ場等の利用料及び売店での商品購入代金の收受については、現金のほか国内外のクレジットカード、電子マネー、QRコードに対応したキャッシュレス決済の導入に取り組みます。

センターハウス及びセンターロッジ、オートキャンプ場敷地内において利用者の誰もが利用できるフリーWi-Fi環境を整備します。タブレットによる翻訳アプリを活用することで、外国人利用者が安心して利用できる環境を提供します。

6) 利用者満足度調査

北海道の利用者満足度調査(年1回)とは別に指定管理者独自の利用者満足度調査(年1回)を各施設において実施し、季節ごとの利用者ニーズを把握します。調査結果は北海道に報告するとともに、当公園ホームページで公表します。また、日常的な利用者からの意見・要望については、日誌に記載するほか、「意見・要望箱」を各施設へ設置し、利用者ニーズをきめ細やかに把握し、施設

運営に活用します。利用者満足度調査での、満足・やや満足と回答する割合は80%以上を維持します。

4. 地域住民等との協働

1) 周辺他施設との連携

天都山周辺には当公園・博物館のほか博物館網走監獄やオホーツク流氷館などの網走を代表する文化施設があります。各施設の持ち味を生かして連携していくことで、地域の魅力向上と活性化に繋げていきます。

天都山エリアに所在している各種施設、飲食店、果樹園などが連携・協力して、エリア全体の魅力構築と活性化及び誘客促進を目的として設立された「あばしり天空の里倶楽部」に参画し、当公園・博物館の利用促進を図るとともに、設立目的である「エリア全体の魅力構築と活性化及び誘客促進」を達成するために地域住民である会員とも連携して、各種事業に取り組みます。

倶楽部では現在エリアマップの作成・配布、エリア広告の掲出、地元FMラジオ局での情報発信、スタンプラリーなどを行っているほか、利用者の利便性向上のために、エリア内の看板点検、新規歩行者用看板の設置、ごみ拾い、景観点検などを行っています。次年度以降も実施する計画となっており、協働での取組を継続して実施します。将来的にはツアー商品の造成、エリア内で利用できるクーポン券の発行などを計画しており、商品化へ向けて準備をしています。

2) 東京農業大学との連携

東京農業大学オホーツクキャンパス生物産業学部では、地域産業の基礎的研究を始め、地域に対する貢献を主眼に研究・教育が実践されています。学内には生物生産学、アクアバイオ学、食品科学、産業経営学等の研究の体制が整備され、それぞれの分野で調査研究が進められています。

この大学のノウハウを当公園の自然環境を保全するために活用するという観点から、一般利用者に影響を与えない範囲で、大学の授業や研究素材として開放する代わりに、基礎的資料の提供を仰ぐなど、相互連携を図り公園の更なる有効活用に結びつけるため、今後も継続して同大学との連携を強化します。

3) 網走市との連携

網走市教育委員会社会教育部社会教育課（エコーセンター）と事業交流を図り、公園の特色（主にキャンプ場）を生かした体験型事業を展開し、地域住民の活動拠点の一環としての役割を果たします。

社会教育部スポーツ課の協力を得て、歩くスキーコースを公園内園路等に整備して冬季スポーツ振興の場を提供していきます。

また、網走市健康推進課及びスポーツ課と連携し、6月～10月の毎週日曜日に公園内の起伏に富み、尚かつ、自然環境に優れた園路及びクロスカントリーコースを活用し、地域住民を対象とし